

付税として13億5000万円ほど計上されておりますが、当初予算には計上されないのが普通ではないかと思いますが、特別交付税の特別の財政需要は何を見込んでおられるのか伺います。

【答弁】 予算計上の仕方、当初特別交付税を計上しない市も有ります。12月のルール分と、3月のルール外の分で参りますので、これはかなり堅く見ておかないと後で歳入欠陥が出るということから通常的にはルール分で計上しております。県の財政主管課長会議があり国の動きで何%か見込んでおく方向で指導がありました。これらを勘案して、奥州市としてかなり厳しい内容でありますので計上しています。

教育民生部門

【質問】 水沢病院への繰入額はどの程度が適当と市長は考えているのか。

【答弁】 明確な基準があるわけではない。ほかの公立病院の繰り入れ実績も参考となるが、繰り出しを限れば赤字が膨らみ、病院経営が問題となる。赤字を1億円ずつ減らす目標で取り組む。年によって繰入額は差が出る。

【質問】 要介護認定者の障害認定申請の通知、周知が不十分ではないか。

いか。

【答弁】 区によって違っていたが、今回は統一して、広報でお知らせした。個人通知についても今後検討したい。

【質問】 妊産婦新生児訪問指導は全戸訪問しているのか。

【答弁】 区によって違って19年度はこれまで通りであるが、20年度からは全戸に対応する。

【質問】 保育所の改築等が行われるが、運営は直営で行われるのかまた、公設民営化等を考えているのか。

【答弁】 現在は直営で行う。今後行財政改革等で民営化する可能性もあり、総合的に判断する。

【質問】 敬老行事の対象年齢の統一は行われるのか。

【答弁】 19年度以降段階的に統一して行く。1歳引き上げるのに2年、77歳に統一すると7〜8年かかる。

【質問】 水沢病院会計について、管理者の選任による経営強化体制の確立はなされているか。また、経営改善のための第2次運営計画に問題はないのか。

【答弁】 10月以来、体制の確立に取り組んでいる。医師確保に努め、17名体制で収入確保を図り、経費節減も行い、収支バランスを取り

たい。

【質問】 水沢病院に、この秋には総務省の経営アドバイザーにより、厳しい指摘が予想される。根本的改革が必要ではないのか。

【答弁】 検討会を重ねている。人件費を圧縮し、3〜4年で収支均衡を図り、財政再建や最新機器の導入等も考えたい。精神科の問題、医師確保の問題等もあるが、最終的には市長の責任として取り組みたい。

【質問】 水沢病院のMRIを更新することが医師確保、医業収入確保につながると思うがどうか。

【答弁】 MRIは、すでに耐用年数は倍以上過ぎていて。バージョンアップはしているが、急患対応等が必要なことはわかるので検討したい。

【質問】 水沢病院は公営企業法全適用であるので、職員の定数管理給与運営等を管理者が行うべきと考えられるがどうか。

【答弁】 管理者の役割は理解している。市と同じ給与体系の中では難しい部分である。管理者が職務を遂行しやすいように市長はバックアップしたい。

【質問】 可燃ゴミステーションの設置数が区によって大きく違っているが、この現状をどう考えるか。

【答弁】 1ステーションあたりの世帯数は、水沢21、江刺24、前沢27、胆沢84、衣川31である。

これまでの取り組み方の違いもあり、胆沢区のステーションの数が少ない。19年度からは環境基本計画を策定する中で検討し、総合的に考えていきたい。

【質問】 資源ゴミの集団回収の意義をもっと広げるべきと考えるがどうか。

【答弁】 集団回収の報奨金は1t当たり3千円、分別収集の処理費は2万円以上かかっている。207団体へ500万円ほど支払っている。PRはもうろんであり、環境教育の面からも総合的に推進したい。

【質問】 スポーツ日本一支援プロジェクトの考え方を伺いたい。

【答弁】 50万円の予算であるが、体育協会、学校等と一緒に考えながら地域が盛り上がるようにしたい。今年度は指導者の強化講習会を一泊二日で行う考えである。

【質問】 子どもの居場所づくり事業は全校に広げて行くのか。

【答弁】 今年度は9校に放課後子供教室を開設予定である。子育て支援、安全な場所の確保の観点から、全校での開設を目指していきたい。

【質問】 家庭教育力低下の中で、